

わたしたちの 看取り介 護

～死とはケアの延長線上にあるもの～

特別養護老人ホーム 喜久の園

平成24年3月31日

喜久の園 概要

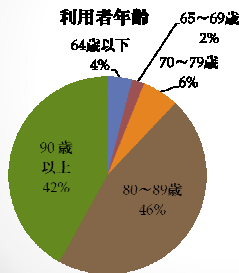
- 平成18年7月、菊川市内に開設
- 定員60名
(長期50名、ショート10名)
1ユニット10名、2ユニットで1707
3階建て構造
- 全室個室
トイレ・洗面台完備



基本理念
ご自宅の楽しさを感じる
安心感及び自立支援のため
の科学的介護の推進



利用者状況



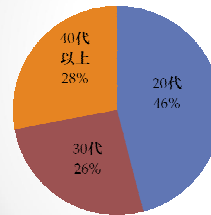
平均年齢 87歳

平均介護度 4.06

開設6年目 平成24年3月末当時

介護職員状況

職員構成



平均年齢

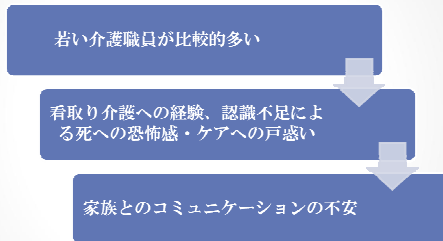
正規職員28歳 非正規職員44歳

平均在職期間 3年7か月

在職期間1年未満・・・15名

開設6年目 平成24年3月末当時

取り組んだ課題



看取りに係る寄り添いケアはどのようにしたらよいか？

具体的な取り組み

学習会

- 平成24年3月全職員対象に、看取りの学習会アンケートを実施し、学習会の内容を考え、看取り介護やしくなることの意識の共有化に努めた。



職種間連携

- ご家族、医師、介護・看護職員を中心とし、施設全体での看取りへの意思疎通に努めた。



見送り

- 平成24月から見送りの際、全部に音楽を流し、多くの職員で見送るよう心掛けた。
- 平成25年10月から告別式へ参加した介護・看護職員も参列するようになった。



活動の成果と評価

学習会

・看取り学習会の内容に利用者や家族の参加まで進めた。
・利用者やご家族の福祉への入居体験を加えた。利用者が個別の時を認えるに当たり、当施設を遊びながら感じて、感謝の気持ちをもちようとする活動に努めた。

職種間連携

・看取り看取り職のケア向上のため、ご家族とのコミュニケーションも増え、ご家族の死への不安感の軽減にも繋がった。

見送り

・館内放送音楽により利用者様共々お見送りが出来た。
・訃別式へのお別れに伴い、退去後の状況を実際には、特に館内からの中継機や西主様の館内への感謝の言葉などを密に届けるようになった。お別れ、退去に合鍵は伝え、ご家族からの感謝の気持ちを伝えることにより、看取り介護への意識向上に繋がっている。

利用者にご施設に入ってよかったと思われる・・・利用者満足度。
日頃のケアは「明るい歌声と花と緑、そして笑顔あふれる生活の場」を常に心掛けた。結果として大半の家族は施設での看取りを選択された。

07

今後の課題

- 平均介護度が4以上と看取りの機会が多い特養として、残り少ない日々をいかに尊厳を保ち、満足度高く過ごしていただくために、基本理念の一層の実現に向けて全職員で取り組んでいきたい。

08